

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 3 月 10 日

事務事業名		放課後子どもプラン推進事業「放課後子ども教室」				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	030301000652
						単独/補助	補助	所属課	090601
政策体系	総合計画の施策名	0303 青少年の健全育成				主要事業	対象外		生涯学習課
	政策名	03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				市長マニフェスト	対象外		
	施策名	03 青少年の健全育成				未来PJ事業	対象外	グループ	生涯学習G
	基本事業名	01 青少年活動の充実				合併建設計画事業	対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	05	02	00		放課後子ども教室推進事業		
法令根拠		学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金実施要領							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
土曜日に地域の子どもの安全・安心な活動拠点の確保をする。さまざまな体験・交流・学習活動を通して、子どもたちの社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性の育成する。子どもたちが地域の中で安心して健やかに育まれる環境づくりを推進するために必要な活動をする。	県補助金申請 県研修会参加 コーディネーター (指導員) との連絡調整 活動計画、講師依頼、材料等準備 わくわくチャレンジ参加者募集チラシ作製及び配布 土曜教育推進員、土曜教育サポーターの募集 移動教室に伴うバス使用申請及び同行

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県補助金申請</li> <li>・コーディネーター (指導員) との連絡調整</li> <li>・活動計画、講師依頼、材料等準備</li> <li>・ボランティア、推進員 (サポーター) の募集</li> <li>・移動教室に伴う市バス使用申請及び同行</li> </ul>	実施回数	回	15.00	20.00	20.00	20.00	20.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
市内小学校1~6年生	市内児童数	人	1,344.00	2,174.00	2,107.00	2,000.00	2,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
週末に子どもたちの安全・安心な活動拠点の確保を図り、地域の方々の参画を得て、地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	参加延べ児童数	人	213.00	307.00	330.00	330.00	330.00
	参加割合	%	15.80	14.12	15.66	16.50	16.50
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	410	148	385	385	385
	事業費計 (A)	千円	410	148	385	385	385	385
人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	
	述べ業務時間	時間	400.00	272.30	250.00	250.00	250.00	
	人件費計 (B)	千円	1,160	790	725	725	725	
トータルコスト (A) + (B)		千円	1,570	938	1,110	1,110	1,110	

事業費の内訳	27年度事業費 実績 (千円)			28年度事業費 予算 (千円)		
	07 賃金	83		07 賃金	160	
	08 報償費	6		08 報償費	100	
	09 旅費	4		09 旅費	9	
	11 需用費	26		11 需用費	74	
	19 負担金補助及び交付金	29		19 負担金補助及び交付金	42	
	合計	148		合計	385	

(4) 当該年度の実施内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する  ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	放課後子どもプラン推進事業「放課後子ども教室」	事務事業No.	30301000652	所属課	生涯学習課
-------	-------------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	平成19年から総合的な放課後対策として「放課後子どもプラン」が文部科学省及び厚生労働省より創設された。放課後や週末等に小学校の余暇教室等を活用し、子どもたちの安全安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものである。桜川市では土曜日に開催しているため「土曜日の教育支援体制等構築事業」に該当し開催している。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	家庭ではなかなかできない体験を親子でできる機会もてる。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	子どもたちが地域の中で安心して健やかに育まれる環境づくりに結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	地域の様々な資質を有する多くの参画を得て、子どもたちに様々な体験・交流・学習活動の機会を与えるため必要である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	スポーツ少年団や習い事、塾などで事業との日程が合わないこともある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	子どもたちの体験活動や文化的活動の場が無くなり、児童の居場所づくりが難しくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨	<input type="checkbox"/> 余地がない	具体的な手段、事務事業名
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	体験や交流活動の実施にあたっては、指導する講師や安全を見守る安全管理員が必要であるため、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	参加者は材料費を負担しているため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・子どもたちの多様な興味・関心を高めるような魅力的な内容を計画したい ・講師は、地域の方の協力で行っている ・26年度までは岩瀬、大和地区のみの募集だったが、27年度より市内全域の児童を対象とした																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
・27年度より市内の児童を対象とし、参加児童を募集したが、一教室の人数が30人と限られているため人気のある教室はオーバーしてしまう。 同じ内容で回数を増やし実施するよう改善する。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ② コスト削減優先度評価結果 ⑨																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>